

## 和泉葛城山(858m)

平尾 繁和

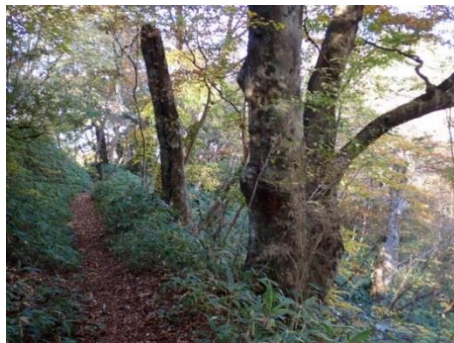
日時 11月3日(金)

山域 和泉山系

天候 晴れ

和泉葛城山は、修験や雨乞いの山で山頂に葛城神社があり、その北側にブナ原生林が広がっている。塔原、蕎原、牛滝山の3つの登山口があり、蕎原登山口からはA、B2つのコースがある。2017年8月に例会ウルトラダイトレで榎尾山から岬町まで2泊3日テント泊の途中通過したことがあるが、ブナ林は見えていない。今回、ブナ原生林を訪ねて蕎原Aコースから山頂へ向かった。本谷林道沿いの「そぶら山荘」溪流園地の有料駐車場に車を置き、小さな滝を見ながら溪流左岸の舗装路を登っていく。薄暗いスギ・ヒノキ林の崖は湿っていてイワタバコがたくさん群生し、道路脇にはアオキの幼木がずっと見られた。コンクリートの橋を右岸へ渡り、一旦北上し高度を上げていく。堰堤付近にはアキチョウジやアザミの花が咲いていた。出発してから50分程で左手奥にハシカケノ滝が見えた。作業道と別れ、「山頂まで1.0km近畿自然歩道」の標識右手の山道を登っていく。ナラ枯れ対策で黒いビニールを地表から幹に巻かれたコナラが2本あった。クロモジやウリノキがあり、赤い実をつけたミヤマシキミの群生が目立っていた。やがて登山道左に2、3本のブナが現れ、ウッドデッキがある所にはブナ巨樹があった。さらに進むと塔原登山口の枇杷平からの道と合流し、前方の鳥居の先に急な石段が見えた。休憩舎のような家屋を抜けると山頂葛城神社に到着、社殿はない。西へ向かい円筒形の展望台の螺旋階段を上ると360度の展望が得られた。ウリハダカエデが紅葉していた。戻って先の石段の下を右へ入るとブナ回廊、ブナが他の樹木に交じって次々と現れた。観察用ウッドデッキが設置されていた。牛滝山へ下る舗装路まで行って引返す。下山は40分でハシカケノ滝、さらに35分下り駐車場に戻った。和泉葛城山のブナは、1923年(大正12年)に国の天然記念物に指定されている。当時直径30cm以上のブナが1,800本あったが、その後激減したので、植樹や植生回復を図っているそうだ。ブナ林の回廊で出会った地元の人の話では「ブナはかつての1/10に減っていて、稚樹が育っていないので今後心配だ」と話されていた。

YAMAP記録： 4時間42分、6.9km、上り676m/下り677m





チドリノキ (カエデ科)

ミヤマシキミ 実

アキグミ 実



クロモジ 実

ウリハダカエデ 紅葉



イワタバコ



天然記念物 ブナ林の碑



葛城神社